

公開・非公開の別

■ 公 開 □ 部分公開
□ 非公開

令和 7 年度第 2 回浜松市都市計画審議会会議録

- 1 開催日時 令和 7 年 9 月 11 日（木） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分
- 2 開催場所 浜松市役所 本館 8 階 802 会議室
- 3 出席状況
- | | |
|------|---|
| 委 員 | 小泉 祐一郎、水崎 久司、平井 正大、
入戸野 未知、大石 康智、神間 郁子、
中野 和幸、石津 陽子、酒井 豊実、
森本 輝（代理：白井 宏明）、
鈴木 光弘（代理：芹澤 和義）（WEB）、
市野 智一（代理：小菅 一郎） |
| 欠席委員 | 杉木 直、遠山 大成 |
| 説明者 | 都市整備部長 濱田 輝秀
都市計画課長 磯部 篤
下水道工事課長 久保田 茂夫
下水道工事課技監 美馬 由周 |
| 事務局 | 都市計画課副主幹 八谷 エミ
都市計画課主任 白井 真理奈 |
- 4 傍 聴 者 1 人（一般：0 人、記者：1 人）
- 5 議 事 内 容 第 1 号議案 浜松都市計画下水道の変更
- 6 会議資料の名称
- ・ 令和 7 年度第 2 回浜松市都市計画審議会要項
 - ・ 令和 7 年度第 2 回浜松市都市計画審議会当日配布資料
（第 1 号議案 浜松都市計画下水道の変更）
- 7 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音（会議録作成後に廃棄済）
- 8 会議録署名人 小泉 祐一郎、中野 和幸

9 会 議 記 録

1 開会

八谷副主幹・・・ただいまから令和 7 年度第 2 回浜松市都市計画審議会を開会します。
まず、定足数の確認を行います。本日の審議会は、全委員 14 名中 12 名の出席をいただいております、浜松市都市計画審議会条例第 6 条第 2 項の規定の定足数に達しているため、当審議会は成立します。

2 会長あいさつ

小泉会長・・・本日もよろしくお願いします。

3 会議の公開・非公開の採決

八谷副主幹・・・浜松市都市計画審議会条例第 6 条第 1 項の規定により、会長が議長となりますので、小泉会長に進行をお願いします。

小泉会長・・・本日の会議の公開並びに非公開について、浜松市附属機関の会議の公開に関する要綱第 4 条第 1 項の規定に基づきお諮りします。本日の案件は、「第 1 号議案 浜松都市計画下水道の変更」です。個人情報等の取り扱いがありませんので公開することでご異議ございませんでしょうか。

各委員・・・「異議なし」との声あり

小泉会長・・・異議なしと認め、会議は公開とします。

4 議事録について

小泉会長・・・浜松市附属機関の会議の公開に関する要綱により、本日の会議の議事録作成人及び署名人を指名します。議事録作成は事務局をお願いします。議事録署名人は私と中野委員をお願いします。

5 議事

小泉会長・・・それでは議事を進めます。「第 1 号議案 浜松都市計画下水道の変更」について、説明をお願いいたします。

《都市計画課、下水道工事課から説明》

説明資料：令和 7 年度第 2 回浜松市都市計画審議会要項

令和 7 年度第 2 回浜松市都市計画審議会当日配布資料

中野委員・・・観月園中継ポンプ場、渚園中継ポンプ場について、廃止理由の一つとして、今後の人口減少見込がありますが、人口の増加等により汚水量が増えた場合に問題は生じないのでしょうか。

下水道工事課長・・・当日資料 4 頁に両施設の計画汚水量の将来予測値を記載しています。本数値は、将来推計人口に加え観光需要等を考慮して汚水量を 0.7 m³/分と見込んでおります。マンホールポンプ形式は 1 基あたり 3 m³/分まで送水が可能であるため、中継ポンプ場を廃止しても十分対応ができると考えております。

神間委員・・・本会議にて渚園中継ポンプ場の廃止についての審議をしていますが、既に渚園についてはマンホールポンプ型式で稼働しているとの説明がありました。どういふことでしょうか。

下水道工事課長・・・渚園中継ポンプ場は昭和 55 年に都市計画に位置づけられましたが、その後、技術革新によりマンホールポンプ型式での送水が可能となったため、マンホールポンプ型式で平成 11 年に設置いたしました。今回は現状に合わせ中継ポンプ場を都市計画から廃止するものでございます。

神間委員・・・元々、中継ポンプ場は都市計画上だけで現場はマンホールポンプ型式しか存在しておらず、今回廃止の決定をしても現場は変わらないということでしょうか。

下水道工事課・・・おっしゃるとおりです。

神間委員・・・西遠浄化センターの放流渠の変更について、下水道管は汚水を自然に流していくため緩やかに斜めに配管されているとイメージしていましたが、当日資料 3 頁の図を確認すると、変更後の下水道管渠がクランク状になっています。これにより問題は生じないのでしょうか。

下水道工事課・・・ご指摘の箇所につきましては、構造上問題はありません。

酒井委員・・・東日本大震災の時に液状化現象によってマンホールが 50 cm ほど浮き上がる状況を見ました。今回、中継ポンプ場を廃止しマンホールポンプ型式に変更予定の場所は、地下水位が高く、地質も液状化しやすい場所になります。地上に設置されている中継ポンプ場に比べ、地下に埋設されるマンホールポンプ型式の方が災害に対して脆弱にならないのか心配していますが、いかがでしょうか。

下水道工事課・・・下水道施設の災害対策につきましては、上下水道耐震化計画にて耐震化を進めている状況でございます。停電が発生してしまうと、中継ポンプ場、マンホールポンプ型式のいずれも電気を使用しているため使用できなくなる問題がありますが、中継ポンプ場をマンホールポンプ型式に変更することで耐震性が低下することはございません。

都市整備部長・・・メーカーの企業努力により下水道管等の耐震性は以前と比べてかなり向上しております。下水道工事課においても、災害に対応できるものを導入予定でありますので、絶対ではありませんが、減災的なものが導入されるということをご理解いただけたらと考えます。

酒井委員・・・承知しました。市民生活を守るという観点で、防災への考えを確認する必要があると考え質問いたしました。

小泉会長・・・この他にご意見はありませんか。

各委員・・・意見なし。

小泉会長・・・他にご質問がなければ、第 1 号議案「浜松都市計画下水道の変更」について、お諮りいたします。本案は、原案のとおり承認することに、ご異議がありませんか。

各委員・・・「異議なし」という発言あり。

小泉会長・・・異議なしと認め、承認とさせていただきます。それでは本日予定していた議案が終了しました。事務局にお返しします。

7 閉会

八谷副主幹・・・以上をもちまして、令和 7 年度第 2 回浜松市都市計画審議会を閉会いたします。ありがとうございました。